

西京塾講座プログラムの紹介

塾生の皆さんの学びの跡である、
講座プログラムをご紹介します。



	月 日	内 容	指 導 等
第1回	平成18年 7月25日	環境問題, 京都市の環境施策等に係る 講義	京エコロジーセンター事業長 阿蘇紀夫氏 京都市環境局循環企画課職員
第2回	平成18年 8月22日	区内におけるごみ減量や リサイクル推進をはじめ 環境保全活動の事例報告	西京区 地域ごみ減量推進会議代表 原田昭治氏 なんきんはぜの会 メンバーの皆さん 京都市環境局西京まち美化事務所職員
第3回	平成18年 9月12日	施設見学 ・京都市南部クリーンセンター第一工場 ・京都市南部資源リサイクルセンター ・京都市廃食用油燃料化施設	各施設職員
第4回	平成18年 10月4日	施設見学, 体験型の講座 ・京エコロジーセンター ・エコランド音羽の杜	各施設職員 京エコロジーセンター 環境ボランティアの皆さん
第5回	平成18年 10月30日	施設見学 ・アイトワ	アイトワ主宰者 森孝之氏
第6回	平成18年 11月15日	これまでの学習を踏まえての グループワーク	京都市文化市民局地域づくり推進課 まちづくりアドバイザー
第7回	平成18年 12月11日	これまでの学習を踏まえての グループワーク	
第8回	平成19年 1月22日	グループ活動の中間報告と 情報交換	
第9回	平成19年 2月20日	西京塾活動報告会の開催	

第1回講座 (平成18年7月25日)

環境問題、京都市の環境施策などについての学習を行いました。

始めに、京都市環境局循環企画課の職員から、「京都における循環型社会の構築～明るい循環型都市・京都の実現を目指して～」と題し、京都市の環境施策を中心としたお話を聞きました。

その後、京(みやこ)エコロジーセンター事業長の阿蘇紀夫氏から、環境学習や環境保全活動を支援する拠点施設である、京エコロジーセンター(伏見区)の活動についてご紹介いただきました。



第2回講座 (平成18年8月22日)



さまざまな取組を
ていねいに説明して
くださった原田氏。

西京区内におけるごみ減量やリサイクルの推進をはじめとする環境保全活動の事例学習を行いました。

地域をあげての環境保全活動を推進されている、西京区の地域ごみ減量推進会議代表、桂川地域ごみ減量推進会議会長の原田昭治氏と、洛西地域を中心に自主的な活動を展開されている「なんきんはぜの会」代表者の鈴木綾氏から、それぞれの活動についてのご紹介をいただきました。

また、京都市環境局西京まち美化事務所の職員から、有料指定袋制の導入(平成18年10月～)と、その手数料収入を活用したコミュニティ回収制度や生ごみコンポスト容器等購入助成制度など市の取組についての説明、また、日ごろの業務についてのお話を聞きました。



「なんきんはぜの会」メンバーの皆さんのご指導で、廃食用油からの石けん作りを塾生が体験しました。

また、生ごみをたい肥にする方法を、実演を交えて教えていただきました。



●「なんきんはぜの会」
メンバーの皆さん(50音順)

上田雅子氏 齋藤はるみ氏 鈴木綾氏 野崎泰子氏
平野元子氏 森早智子氏 吉田年子氏

*地域ごみ減量推進会議、なんきんはぜの会については、
P.40~41にてご紹介しています。



第3回講座 (平成18年9月12日)



第一工場では、
ごみを焼却する中で、
大気汚染や悪臭といった公害の防止、
余熱の有効利用など、環境の保全に
万全を期しているという説明を
聞きました。

京都市南部クリーンセンター(伏見区)を
訪れ、第一工場、南部資源リサイクルセン
ター、廃食用油燃料化施設を見学しました。



南部資源
リサイクルセンターは、缶、
びん、ペットボトルをリサイクル
するために選別処理をする施設で、
知的障害者のための福祉工場として
運営されています。
展示コーナーも
併設されています。



廃食用油燃料化施設は、
各家庭から回収された
廃食用油をバイオディーゼル燃料に
精製する施設です。この燃料は、
京都市のごみ収集車全車と
市バスの一部で利用されて
います。



第4回講座 (平成18年10月4日)

第1回講座で活動紹介していただいた京エコロジーセンター(伏見区)を実際に訪れ、環境ボランティアの方々との交流を交えながら、紙パックを利用したリサイクル工作や、館内を考えながらめぐる体験学習を行いました。

その後、エコランド音羽の杜(山科区、伏見区)を訪れ、施設見学をしました。



畑中美禰子氏



大倉文子氏

京エコロジーセンターの環境ボランティア(京エコサポーター)のお二人から、ご自身の活動についてご紹介いただきました。

上記の大倉氏、畑中氏と、同じく環境ボランティア(京エコサポーター)の角田尚美氏、深川佳子氏にご指導いただき、使用済みの紙パックと布切れから、すてきな名刺入れを作りました。



京エコロジーセンターの展示は、子ども達も、見て考えながら探検できるようなつくりになっています。



ごみの最終処理場である埋立処分地を実際に見て、塾生の皆さんは、ごみを減らすことの大切さを実感されたようです。



エコランド音羽の杜では、そこに生息するめずらしい昆虫、ミドリセンチコガネを観察し、施設がつけられた後も生態系が保たれている様子について確認しました。

第5回講座 (平成18年10月30日)



手作りの循環型生活空間である「アイトワ」(右京区)を訪れ、エコライフガーデンを見学しました。

「アイトワ」は、生ごみやし尿などすべての有機物を肥料として自然に返し、排水は分別し、薪を燃料として使うなど、そこに住んでいらっしゃる家族の力だけで、長年にわたって循環型の生活を営んでおられる空間です。



主宰者である森孝之氏からご説明をいただきながら、相互扶助を大切に、様々な工夫で、自然の恵みと共生する生活を実現されている様子に触れ、塾生の皆さんは、ライフスタイルを変えていくことへの意識をますます強く持たれたようです。

第6回講座 (平成18年11月15日)

第7回講座 (平成18年12月11日)

第8回講座 (平成19年1月22日)

区民の皆さんにこれまで学んできたことの成果を発信するため、3つのグループに分かれて、どんなことを発信するのかなどを塾生同士で話し合い、自主的に活発な活動を展開しました。

そして、グループ活動の中間報告会を行い、情報交換しました。

